|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ■基本情報 | | | | | |
| 取組・プロジェクト名称 | |  | | | |
| 応募者【５名まで】  ※最上段に中心的役割かつ実務を担った代表をご記入ください | | メンバー氏名 | 所属機関 | 役職（学生は学年） | 年齢\* |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| 博士号取得情報\*  氏名・取得年月日・大学をご記入ください | |  | | | |
| 問合せ連絡先 | 氏名 | （ふりがな：　　　　　　　　　　　　　　） | | | |
| 所属機関 |  | | | |
| 電話番号 | －　　　　　　－ | | | |
| E-Mail | @ | | | |
| 住所 | 〒 | | | |
| 応募区分 | | 自薦　　他薦　（他薦者の所属・氏名　　　　　　　　　　　　　　） | | | |
| ■中心的役割を担う組織 | | | | | |
| 産業界（大企業）　産業界（中小企業、ベンチャー企業）　公的研究機関  大学・教育機関　その他（地方自治体、社団法人、非営利団体、学会等） | | | | | |
| ■取組が関連する分野　（二つまで選択可） | | | | | |
| 機械　船舶・海洋　航空・宇宙　電気電子　化学　繊維　金属　資源工学  建設　上下水道　衛生工学　農業　森林　水産　経営工学　情報工学  応用理学　生物工学　環境　原子力・放射線　医歯薬・健康科学  （その他（　　　　　　　　　　　　　）　※各分野の詳細は応募要項をご参考ください | | | | | |
| ■希望する受賞名　第一希望：（　　　）　第二希望：（　　　）※数字で記載してください「例：①」 | | | | | |
| ①科学技術政策担当大臣賞　　②総務大臣賞　　③文部科学大臣賞　　④厚生労働大臣賞  ⑤農林水産大臣賞　　⑥経済産業大臣賞　　⑦国土交通大臣賞　　⑧環境大臣賞  ⑨スポーツ庁長官賞　　⑩日本経済団体連合会会長賞　　⑪日本学術会議会長賞 | | | | | |
| ■本取組・プロジェクトに係る受賞歴、他賞への応募状況があればご記入ください | | | | | |
|  | | | | | |

\*科学技術政策担当大臣賞を希望する場合、年齢(2020年4月1日時点)および応募者に係る博士号取得情報（博士号取得者がいない場合は記入不要）をご記入ください。また、博士号取得情報欄において、以下に該当することを明記してください。

①2020年4月1日時点で博士号取得後15年以下。

②医学、歯学又は獣医学を履修する場合、博士課程修了後に、法律（医師法、歯科医師法又は獣医師法）に定める臨床研修を修了した者については、2020年4月1日時点で博士号取得後17年以下。

③博士号取得後から15年以内（②に該当する者は17年以内）に、出産・育児により研究に専念できない期間があった者については、2020年4月１日時点で博士号取得後20年以下（②に該当する者の場合は、博士号取得後22年以下）。

④博士号取得後から15年以内（②に該当する者は 17年以内）に介護等にて研究に専念できない期間があった者については、①の条件に当該期間分（最大2年）を引き上げる。

※応募書類に博士号取得年月・大学を記入し、また、博士号取得が2005年3月以前の場合、その理由を記述してください。③又は④に該当する場合は、母子手帳の写し、要介護認定の証明書写し等を追加で提出してください。必要に応じ確認します。

|  |
| --- |
| ■組織・プロジェクトの概要（必ず箇条書きで簡潔にご記入ください。文字数：800字以内、推奨フォント：MSゴシック、推奨サイズ：10.5pt） |
| **【記入のポイント：本テキストボックス(破線部)は削除して使用ください。】**  取組全体、連携の内容、目的、客観的な効果等についてご記入ください。  （概要図（文字数に含めない）の使用は可）  ※A4用紙1枚に収めること |

|  |
| --- |
| 【連携の目的】社会的ニーズへの貢献について（必ず箇条書きで簡潔にご記入ください。文字数：800字以内、推奨フォント：MSゴシック、推奨サイズ：10.5pt） |
| **【記入のポイント：本テキストボックス(破線部)は削除して使用ください。】**  社会的ニーズや課題の解決等への貢献、将来の社会や産業の在り方に革新を起こす可能性（新型コロナウイルス感染症対策やポストコロナの社会変革など）をご記入ください。（概要図（文字数に含めない）の使用は可）  **（評価のポイント）**  ・社会課題やニーズ対応のインパクト・影響の大きさ  ・SDGsの課題設定やKPIを参考にした目標の設定  ・政府の掲げる社会課題への対応  ・将来の社会や産業の在り方への革新的インパクト・影響の大きさなど  ※A4用紙1枚に収めること |

|  |
| --- |
| 【連携の内容】先導性・独創性について（必ず箇条書きで簡潔にご記入ください。文字数：800字以内、推奨フォント：MSゴシック、推奨サイズ：10.5pt） |
| **【記入のポイント：本テキストボックス(破線部)は削除して使用ください。】**  イノベーションを創出するための連携の体制づくり、拠点の構築、プロジェクトの進捗や知財のマネジメント、参画機関・参画者のコミュニケーション等における先導性や独創性をご記入ください。（概要図（文字数に含めない）の使用は可）  **（評価のポイント）**  ・従前にないプレーヤーの巻き込み  ・互いの良いところを組み合わせ弱いところを補完する体制づくり  ・適時適切なプロジェクトの進捗管理  ・早めかつ包括的な知財戦略  ・参加機関や参加者のモチベーションを維持向上するコミュニケーション手法の導入など  ※A4用紙1枚に収めること |

|  |  |
| --- | --- |
| 【連携の効果】客観的な効果と持続可能性について（必ず箇条書きで簡潔にご記入ください。文字数：800字以内、推奨フォント：MSゴシック、推奨サイズ：10.5pt） | |
| **【記入のポイント：本テキストボックス(破線部)は削除して使用ください。】**  連携の取組の効果が上がっているか、効果が上がる見込みがあるか、連携の実施において公的資金に過度に依存していないか、持続的かつ自立的な連携かなどをご記入ください。（概要図（文字数に含めない）の使用は可）  **※必ず何らかの数値指標を所定の欄にご記入ください。（項目数は適宜追加/削減ください。）**  **数値指標の例：取組プロジェクトにおける売上、利益、雇用創出、参加者数、賛同者数、資金調達額、予算規模、取組プロジェクトで実現する効率性、生産性の向上を示す数値、その他取組において設定したKPI　等**  **（評価のポイント）**  ・連携の効果や持続可能性を示す定量的な数値  ・プロジェクトの効果と持続可能性を示す定性的な事項など  ※A4用紙1枚に収めること | |
| 効果等を示す数値指標 | ・  ・  ・  ・  ・ |